

ホームと家族を結ぶ

# おとぎれ162号

社会福祉法人 任運社 特別養護老人ホーム 任運荘

〒879-6601 大分県豊後大野市緒方町馬場 796 番地 1

事務室：0974(42)2338 寮母室：0974(42)3322

任運社総合相談支援センター 0974(42)4211

任運荘ホームヘルパーステーション 0974(42)3351

※ 任運社内では介護職を『寮母』と呼びます

F A X : 0974(42)4187

E-mail : ninunsou@gmail.com 編集・発行

<http://ninun.or.jp>

任運荘広報委員会

令和3年度

## お花見会

～ 新たな気持ちで桜に誓う ～

4月6日(火)の午前10時より、任運荘ホールにて『お花見会』を開催しました。ホールには桜のモチーフや八重桜が飾られ、「美しいな」と利用者から喜びの声が聞かれました。

まずは、任運社の人事異動と任運荘新人職員紹介を行いました。本来ですと、4月1日に任運荘と騰々舎、なごみ塾の利用者が集い『任運社入社式』を行っていましたが、昨年度より、新型コロナウイルス感染防止のために、利用者が集った前で新人職員等の紹介が行えませんでした。今回、任運荘利用者の前で吉野施設長より、人事異動の1名と新人職員の2名が紹介されました。紹介されたのは左記の方々です。

### 【人事異動】

任運社総合副施設長 橋本 祐輔 (任運社地域福祉推進室長)

### 【新人職員】

任運荘介護職員(寮母) 河野 憲恵・阿南 理恵

新人職員の2人より「皆さんのお世話を一生懸命頑張りますのでよろしく願っています」と挨拶があり、橋本総合副施設長からは「皆さんが過ごしやすい環境、職員が働きやすい環境づくりに努めていきます」と、決意を述べました。

次は、職員によるアトラクションです。職員から利用者へ歌のプレゼントを行いました。『切手のないおくりもの』と『上を向いて歩こう』の2曲です。職員の歌を聞きながら一緒に口ずさむ利用者もいました。歌の後は、工藤若美寮母による踊りが披露されました。『夜桜お七』の曲に合わせて踊られる姿に利用者は目がくぎ付けになりました。床に座る振付の場面で、見えづらい位置にいた利用者から「あら、こけたでー!」との一声で、笑いも起きました。



阿南理恵寮母

河野憲恵寮母



橋本祐輔 任運社総合副施設長

## 五月祭の開催について

『任運社五月祭』は、5月9日(日)に開催いたします。しかし、今年も昨年と同様に、新型コロナウイルス感染症防止のため、表彰等を各施設で行い、規模縮小にて催すこととなりました。

五月祭を楽しみにされていた、ご家族や地域の皆様方には、今年もご参加の見合わせをお願い申し上げます。なお、利用者作品は例年通り作製しております。次号の『おとすれ』にて紹介いたしますので、楽しみにしておいてください。今回は、作品作りの様子を紹介いたします。

任運社五月祭実行委員会



## 任運社総合施設長就任挨拶

今年度から任運社総合施設長に就任し、任運荘、騰々舎及びなごみ塾、相談支援センターの業務全般にかかわることとなりました。オレンジカフェ煙仲間の運営等地域福祉推進事業も引き続き担当しますのでよろしくお願いします。

さて、今年度の任運社の事業目標の主なものとして

- 1 職員のサービスマナーの向上
  - 2 虐待防止の徹底
  - 3 褥瘡ゼロケアの継続
  - 4 看取りケアの充実
  - 5 ノーリフト介護の実践
  - 6 感染症予防の徹底
- 等を計画しています。特に1と2については重点目標として全職員挙げて取り組んでまいります。この点でお気づきのことがございましたら、ご家族の方には是非ご指摘をいただきますようお願い申し上げます。

また、騰々舎では5月中に新舎屋が完成しますので、円滑な引越しができるよう委員会を設置し準備を進めてまいります。また、建物関連では騰々舎の移設に伴って厨房施設の改修を今年度中に行います。手狭の現況施設の改築を行い厨房業務の環境改善を図ってまいります。

任運社総合施設長 橋本 祐輔

県内の陽性者数の推移を見ながら、面会規制をさせて頂いております。その都度、ご理解とご協力下さり心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルスのワクチン接種も始まりました。利用者の皆様が安心して生活されます様、予防に努めて参ります。看護、介護職のみならず厨房職員など全ての職員がエッセンシャルワーカーとしての自覚を持ち、今後も予防に努めて参ります。

お送りする利用者のお写真に「生活の状況がわかる」「元氣そうで安心した」など感想を伝えて下さる方もおられ、前を向いて行く力を皆様から頂いております。職員一同、感謝の気持ちでいっぱいです。今後ともよろしくお願い申し上げます。

施設長 吉野 明子

## ★広報委員のひとり言

春の選抜高校野球が無事に開催され、また大分県代表校の快進撃に、本当に胸が熱くなりました。夏の甲子園大会も今から楽しみです。ただ、現在全国的に第4波と言われている、新型コロナウイルスの変異株の猛威には、恐怖しかありません。大分県でも今までにない感染者数が毎日報告されております。私たちは、施設に持ち込まない、そして感染予防にと、今まで以上に気をつけています。

利用者へ新型コロナウイルスの接種が始まりました。私たちへのワクチン接種はまだ先ですが、また、皆さんと一緒に外出ドライブができる日が早く来ることを願っています。

# つばやき

飛賀 アヤ子さん

娘さん二人の面会がある。二人が申し合わせて来られたことが嬉しいと涙ぐんでいたが、

「これ、息子(長男)がおいたの、いい上ない心の栄養です」と言われた。それを聞いた娘さん二人は、顔を見合わせ笑っていた。

渡邊 キヨさん

喫茶で生チョコプレートをニコニコしながら食べていた。「美味しかったですか」と聞くと、

「生チョコ食べて、よかったー」と、満面の笑みで答えてくれました。

三代 チヨコさん

職員が「今日はこれで帰りますね」と声をかけると、「もう帰るのよ」と言われた。

「帰ったらさみしいですか?」と聞くと、「ね、みじくうはなえ」と言われる。「あら、さみしくないんですか...」と言うと、「ね、みじくうはなえ、あんだが帰れんやねえな」と、笑いながら言われたので、「また明日も来ますね」と伝えると、「また明日も来なくえ」と、言ってくれました。

眞部 タマエさん

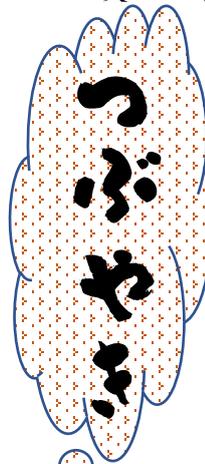
「お嫁さんが漬けたお漬物をいただきましたよ」と声をかけると、「よかった...」と、言ってくれました。

河野 ハル子さん

居室から外を眺めていたので、「何が見えますか」と聞いてみると、「あんだ、見て下さい。立派な松ですよ。形もいいですねー」と、うっとりされていた。

高橋 アイ子さん

「あ、あ、あ、あ、あ」と声がするので高橋さんを見ると、職員に声かけをしていた。「気をつけんと眼鏡がおひるよ」と、胸ポケットに入れていた(老)眼鏡の心配をしてくれていました。



芦刈 トヨさん

「も、も、も」と、寮母を呼び利用者の声を聞き、芦刈さんは「も、も、も、かめ、かめ、かめ、世界のうしろ、おまえほど、あめみの、いのが」と、歌詞の一番を朗読されました。

工藤 幸子さん

普段は言葉を発する事が少ない工藤さん。職員が朝、「おはようございます」と声をかけると、笑いながら「おはよう、おはよう」と言われました。もう一度声が聞きたくて「もう一回お願います」と言う「アホ」と言って、笑われました。

五嶋 ナルコさん

お嫁さん・娘さんの窓越し面会時、職員が五嶋さんへ「お二人に何か、お願い事はありますか?」と聞くと、「小宛(自宅)へ帰りたい」と、はつきり涙ぐんで言われた。

岡部 ヒサヨさん

トイレに行くとき「トイレの神様、お願いします」と手を合わせ、手を洗う際には「水神様、ありがとうございます」と、「ありがとうございました」と、感謝の言葉を伝えていました。

穴見 富貴子さん

居室にきた職員の顔を見ると「あんだを待つちよたんで」と、嬉しい言葉をかけてくれました。

渡邊 年子さん

朝ご飯の後、職員が「渡邊さん、今日も一日頑張りましょうね。えい、えい、おー」と声をかけると、「えい、えい、おー」と、大きな声で言うてくれました。

河原 雪夫さん

雪が降っているのを窓から見ながら、一緒に見ている職員に「私の生まれた日(1/7)に大雪が降ってな...名前を付ける時に雪夫になったんじや。親から聞いた事があるわ」と、語りかけました。

踊りの後は、利用者と職員でリズム体操を行い、皆さんしっかりと体を動かしました。

閉会にあたり、廣本理事長より「お花見会はどうでしたか。私は皆さんにとって本当に新しい年とは、この桜の時期かと思えます。桜を見て、また綺麗な桜を見るために頑張ろうという思いになるわけです。皆さん、この時期を十分に楽しんでください」と挨拶がありました。

お花見会の後は、厨房職員による手作りのお花見弁当に、利用者の皆さんは舌鼓を打ちました。「巻き寿司が美味しい」や「煮物の味付けが上手い」など、皆さん笑顔で召し上がりました。

今年は暖冬で、施設周辺の桜は3月には満開となり、この日まで桜の花はもぢませんでした。任運荘ホールでは、利用者と職員による笑顔の花を満開に咲かせることができ、とても楽しい『お花見会』でした。

担当 羽田野 弘美



渡邊キヨさん、一緒に歌いましょう



歌が上手な村上昌子さん



後藤スミエさん、真剣に見てますね



工藤幸子さん、見入ってますね



芦刈トヨさん、たくさん食べてね



みんなでリズム体操

# 節分行事 『鬼はそと、福はうち』

2月2日(火)に、任運荘ホールにて『節分行事』を行いました。通年2月3日が節分ですが、今年 は明治30年以来124年ぶりに2月2日となりました。

今年の年女は、河野ハル子さん・工藤久子さん・後藤ツユ子さん・後藤ツワさん・志賀フキ子さん・嶺八千代さんの6名でした。

まず始めに、利用者の皆さんへ年女の紹介をしました。次に『豆まき』の歌を歌っていると、ホールに職員が扮した赤鬼と青鬼が登場です。年女の方々が「鬼はそと、福はうち」と言いながら、鬼に向かつて豆をまきました。鬼たちは「痛い、痛い」と言つて、ホールの中を逃げ回りました。年女以外の利用者も鬼に向かつて豆をまきました。飛賀アヤ子さんは、鬼に負けないくらいの形相で鬼に豆を投げてました。工藤幸子さんは鬼が側に来ると手を出し、笑顔で握手をされました。

「鬼はそと、福はうち」とあちらこちらから豆を投げつけられた赤鬼と青鬼は「あいたた...これではたまらん。退散しよう」と任運荘から逃げて行きました。

まだまだ新型コロナウイルスが心配ですが、少しでも早く終息し、利用者の皆さんが今年も健康で楽しく過ごせますように...任運荘に大きな福よ来い！

担当 文東 明美



年女の工藤久子さんは、赤鬼と記念撮影をしました。



佐藤静子さん、突然現れた鬼にビックリ！



河原雪夫さん、優しさはいりません！思いっきり投げてください。

# お花祭り

朝食前、今日は4月8日ですと伝えると、何名かの利用者の方が、「お花祭りやなあ」と、声をそろえて言われました。きれいにしてお花で飾られたお釈迦様にそれぞれの思いで甘茶をかけ、深々と頭を下げ、手を合わされました。お菓子と甘茶も皆さん笑顔で召し上がりました。「今日の甘茶は、いつもより甘くねえわあ」と言われた利用者もいましたが、「おかわり」と言われ、2杯、3杯と飲まれる利用者もいました。

担当 佐藤 里香



羽田野キミ子さんは、お賽銭を上げられました。



穴見富貴子さん



引田ケサさん



後藤ツワさん



志賀フキエさん



和田静子さん



山内スマエさん

# お花見散歩

～ 世間の騒がしさから離れてのんびりのんびり ～

今年も任運荘の周りには、たくさんのお花が咲き誇りました。皆さん、お花見しながら、施設の周りを散歩しました。



堀右橋さん

西博美さん



平井綾子さん

佐保ハツ子さん



加藤スマコさん



佐藤秀子さん

橋本恵美子さん



衛藤千代子さん



山村節子さん



嶺八千代さん



岡部ヒサヨさん

西 博美さん (95歳)



昔、飼われていた牛の話をお職員にしてくれ  
れます。本当に仕事  
熱心な方だったんだ  
と感しました。  
担当 高倉 智恵

5月生

高山 ヒサ子さん (97歳)



職員一人一人の名前を  
しっかり覚えており、笑  
顔で話しかけてくれま  
す。そして、利用者が食  
事に使うエプロンを毎日  
綺麗にたたんでくれま  
す。また、手先も器用  
で、毛糸を使ってミニわ  
らじをたくさん作製し  
ましたよ。  
担当 羽田野 弘美

高橋 アイ子さん (87歳)



お寿司が大好きで、週に二  
回、お寿司を召し上がられま  
す。食べ終わったら「美味し  
かつた」と、いつも笑顔で感想を  
教えてください。  
担当 伊東 菜保美

工藤 キミエさん (93歳)



職員の声かけに頷い  
て返事をしてしてくれま  
す。息子さんの名前を  
呼びかけると、目をし  
っかりと開けられ、ほ  
ほ笑んでくれます。  
担当 木本 佳代子

年齢は令和3年5月末現在

3月8日は『みつぼの日』

3月6日(土)の午前、豊後大野市大野町の有限  
会社育葉産業より、みつばを頂きました。毎年、  
3月8日の『みつぼの日』にちなんで、市内外の福祉  
施設へ贈られています。

頂いたみつばは、白和えやかき揚げで、利用者の  
皆さんに召し上がっていただきました。  
育葉産業様、毎年、美味しいみつばをありがと  
うございます。  
担当 宮崎 正規



三代智子さん、「こりゃ美味しい  
で」と言われながら食べてました。



飛賀アヤ子さん、美味しすぎて  
感動の表情です。

# 誕生者紹介

3月生

**清田 マサエさん** (91歳)



声をかけると、いつも笑顔で答えてくれます。3月からご利用されておりますが、食事が美味しいと、きれいに召し上がられます。

担当 羽田野 弘美

**眞部 タマエさん** (95歳)



目を閉じられベッドで休む時間が長いですが、ご家族のお話しをすると目を開けられ、穏やかな表情を見せてくれます。

担当 高倉 智恵

**河野 ハル子さん** (96歳)



居室からホールまで、車椅子を自操する事が習慣になりました。かなり距離はありますが、毎日頑張っておられます。

担当 河野 憲恵

首藤 文彦さん (74歳)



職員の声かけに「おはよう」「はい」としつかり答えてくれます。その時は、とてもすてきな笑顔を見せてくれますよ。

担当 羽田野 瞳

佐藤 眞子さん (93歳)



毎日、とても穏やかで優しい表情です。時折見せてくれる笑顔には、上品さを感じさせてくれます。

担当 羽田野 瞳

工藤 久子さん (84歳)



ぬり絵が好きで、毎日熱心に励まれています。上手く出来た作品を職員に見せて「これは良いやろ」と、嬉しそうに話されます。

担当 渡辺 加代子

4月生

**三代 千ヨコさん** (98歳)



声をかけると素敵な笑顔を見せてくれ、その笑顔に私達は癒されています。毎日、声かけに行くのが楽しみです。

担当 西原 怜菜

**衛藤 千代子さん** (86歳)



「今日はお願ひします」との職員の声かけに、「こちらこそお願ひします」といつも笑顔で答えてくれます。

担当 渡辺 加代子

**深田 アイ子さん** (85歳)



声をかけると目を開けてしつかりと返事をしてくれます。ご家族のお話をする時、ニコツと笑われ、とても良い表情です。その笑顔に私達は癒されています。

担当 小林 美悠